

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 千鳥会	代表者	吉村秀樹	法人・事業所の特徴	「ぬくもり」の理念 <input checked="" type="checkbox"/> ぬくもりのあるサービスと <input checked="" type="checkbox"/> くつろげる雰囲気と <input checked="" type="checkbox"/> もうひとつの我が家を <input checked="" type="checkbox"/> 利用者様と作っていきます をモットーに家庭的な雰囲気、暖かい人のぬくもりを感じて頂けるように支援しています。ご本人・家族の必要に応じ随時、通い・訪問・泊まりの3つのサービスを柔軟に提供し、できるだけ住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、又、ご家族の介護負担が軽減されるように努めています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 ぬくもり	管理者	片山まゆみ		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	2人	0人	2人	1人	1人	2人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	⑧質の向上の取り組みについて、研修に行かないのは、時間がないのか、人員が足りないのか、予算がないのか意欲が少ないのか、研修の場の提供をして他施設にも見学に行き、質の向上に努めるようにしたらどうか。	資格取得やスキルアップのための研修に参加し職員で共有する場（職員会議）を持ち質の向上に努める。	継続してください。	
	—	—	アセスメントシート、フェイスシート私の暮らしの情報（シート）等で把握をしているが自宅での生活環境10個以上把握は難しく、利用者に対する情報の共有に不足がありより把握が必要である。	アセスメントの確認と私の暮らしシートの再確認でより一層の情報の把握し、支援して行く。
	—	—	地域の方が訪れは少ないが、ボランティアの方がよく来てくださるようになった。 地域の方々が立ち寄れる、交流の機会がない。	地域の方々が立ち寄れるような場作りを提供し開放感のある雰囲気作りを図る。
B. 事業所のしつらえ・環境	—	—	危険な部分はあるが環境的には申し分ない。利用者、家族、地域の方々に気軽に入って頂ける環境作りを継続する。	
C. 事業所と地域のかかわり	—	—	小規模多機能ぬくもりの事を知らない方もいるのでPRしては。引き続きアピールができれば良い。広報誌・地域参加（祭り、集会・ドライブ等）の活動の機会を引き続き継続する。	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	—	—	利用者と散歩、地域活動にも参加している。 地域の防災訓練にも参加してください。 町内の地域での活動の場を広げる。	
E. 運営推進会議を活かした取組み	—	—	運営推進会議では現状と課題や取り組みを積極的に報告し共有できる場の為今後も連絡し合える会にする。参加者メンバーと何でも相談できる関係作りを図り、今後も継続して行く。	
F. 事業所の防災・災害対策	—	—	施設内の消防訓練等は実地している。地域との交流では、防災訓練があるので参加しては。地域の方のとの交流が出来ると思う。施設内の消防訓練等は実地しているが風水害等の行動計画が必要か。地域の方のとの交流を出来ようとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画(風水害等)作成。 ・消防団長と連絡、何かの機会があれば交流を図りたいと伝える。 ・防災訓練実地時参加案内を出し参加していただく。